第78期(2027年3月期)
第2四半期（中間期）決算説明資料

2026年11月10日

大東港運株式会社

東証スタンダード　証券コード9367

目次

当社グループについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
連結業績の総括 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
セグメント別業績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
連結キャッシュ・フロー計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
連結業績予想 ・・ 6
第９次中期経営計画（中期ビジョン） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
第９次中期経営計画（基本方針） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
第９次中期経営計画（重点戦略テーマ） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
第９次中期経営計画（定量目標） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
配当金 ・・ 11
株主優待 ・・・ 12

当社グループについて

大東港運株式会社

（設立：1957年12月）
輸出入貨物取扱／鉄鋼物流／不動産賃貸 等

国内

連結子会社

大東運輸倉庫㈱
陸上運送・倉庫・不動産賃貸

丸田運輸倉庫㈱
海上コンテナ運送・トラック運送

FDロジスティクス㈱
海上コンテナ運送

㈱眞栄ロジ
海上コンテナ運送

㈱水文
白えびの買付・加工・卸売

非連結子会社

ダイトウ保険センター㈱
損害保険代理店

海外

連結子会社

中国

大東港運（江陰）儲運有限公司
倉庫

シンガポール

Ever Glory Logistics Pte. Ltd.
運送・倉庫・フレイトフォワーディング

持分法適用関連会社

韓国

DB CORPORATION
エージェント業務（貨物・船）

連結業績の総括

総括：営業収益は、その他事業の取扱が減少したものの、輸出入貨物取扱事業・鉄鋼物流事業・海外事業・国内不動産賃貸事業の取扱が増加し増収となった。営業利益は、過年度設備投資によるコスト増加のため減益。経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は増益となった。

営業収益
9,558百万円
前期比+5.8%

営業利益
542百万円
前期比▲0.2%

経常利益
651百万円
前期比+11.4%

親会社株主に帰属する中間純利益
424百万円
前期比+8.1%

（単位：百万円）

	2026/03 2Q	2027/03 2Q	増減	増減率	主な要因
輸出入貨物取扱事業　計	6,618	**6,996**	**+378**	**+5.7%**	
畜産物	2,702	3,218	+516	+19.1%	冷蔵豚肉取扱の増加
水産物	1,372	1,247	▲124	▲9.1%	水産原料取扱の減少
農産物	971	940	▲30	▲3.2%	農産原料取扱の減少
その他	1,572	1,590	+17	+1.1%	その他（三木デポ蓄電池コンテナ ）取扱の増加
鉄鋼物流事業	1,047	**1,083**	**+35**	**+3.4%**	鉄鋼物流事業の売上増加
海外事業	484	**602**	**+117**	**+24.2%**	海外子会社の売上増加
国内不動産賃貸事業	165	**166**	**+0**	**+0.3%**	賃貸収入の増加
その他事業	719	**710**	**▲9**	**▲1.4%**	国内子会社の売上減少
営業収益　合計	9,036	**9,558**	**+522**	**+5.8%**	
営業利益	543	**542**	**▲1**	**▲0.2%**	
経常利益	585	**651**	**+66**	**+11.4%**	
親会社株主に帰属する中間純利益	393	**424**	**+31**	**+8.1%**	
１株当たり中間純利益	45.53円	**49.15円**			

セグメント別業績

（単位：百万円）

		2026/03 2Q	2027/03 2Q	増減	増減率
輸出入貨物取扱事業	営業収益	6,618	**6,996**	**+378**	**+5.7%**
	セグメント利益	943	**963**	**+19**	**+2.1%**
鉄鋼物流事業	営業収益	1,047	**1,083**	**+35**	**+3.4%**
	セグメント利益	94	**86**	**▲8**	**▲9.2%**
海外事業	営業収益	484	**602**	**+117**	**+24.2%**
	セグメント利益	25	**41**	**+15**	**+61.1%**
国内不動産賃貸事業	営業収益	165	**166**	**+0**	**+0.3%**
	セグメント利益	68	**45**	**▲22**	**▲33.3%**
その他事業	営業収益	719	**710**	**▲9**	**▲1.4%**
	セグメント利益	▲13	**41**	**+54**	**－%**
合計	営業収益	9,036	**9,558**	**+522**	**+5.8%**
	※セグメント利益	543	**542**	**▲1**	**▲0.2%**

※合計のセグメント利益は、全社費用（2026/03　2Q）576百万円 、**（2027/03　2Q）636百万円** を控除した数値であります。

当連結会計年度より執行役員人件費は、部署長を兼務する執行役員に係るものを除き、各報告セグメントに配分せず全社費用に含める方法に変更しております。
本資料の前年同期間比較については、変更後の算定方法により作成した数値で比較しております。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

		2026/03	2027/03 2Q	増減	主な要因	
資産	流動資産	7,091	**7,685**	+594	現金及び預金 受取手形及び営業未収入金 関税等立替金	▲147 +127 +552
	固定資産	8,699	**8,765**	+66	有形固定資産 無形固定資産 投資その他の資産	▲40 ▲10 +116
	合　計	15,791	**16,451**	+660		
負債	流動負債	3,595	**2,844**	▲751	営業未払金 短期借入金	+49 ▲828
	固定負債	1,434	**2,454**	+1,019	長期借入金 その他(主に繰延税金負債)	+936 +79
	合　計	5,030	**5,298**	+267		
純資産		10,760	**11,153**	+392	利益剰余金 その他有価証券評価差額金	+260 +88
自己資本比率		67.0%	**66.5%**			
1株当たり純資産		1,224.40円	**1,265.41円**			

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2026/03 2Q	2027/03 2Q	キャッシュ・フローのポイント	
営業活動によるキャッシュ・フロー	618	**▲94**	税金等調整前当期純利益 減価償却費 退職給付に係る負債の減少額 持分法による投資利益 売上債権の増加額 関税等立替金の増加額 法人税等の支払額	+653 +204 ▲55 ▲36 ▲119 ▲552 ▲152
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲545	**▲37**	保険積立金の積立による支出 保険積立金の解約による収入 有形固定資産の取得による支出 投資有価証券の取得による支出	▲47 +89 ▲47 ▲22
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲26	**▲105**	長期借入による収入及び支出 リース債務の返済による支出 配当金の支払額	+102 ▲43 ▲163
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	**87**		
現金及び現金同等物の増減額	45	**▲149**		
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,039	**2,529**		

連結業績予想

（単位：百万円）

	2026/03 実績	2027/03 予想	増減	増減率
営業収益	18,132	**18,200**	**+67**	**+0.4%**
営業利益	1,095	**1,100**	**+4**	**+0.4%**
経常利益	1,239	**1,200**	**▲39**	**▲3.2%**
親会社株主に帰属する当期純利益	869	**800**	**▲69**	**▲8.0%**
1株当たり当期純利益	100.70円	**92.58円**	**▲8.1円**	**▲8.1%**

当社グループは「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーに加え、社会環境の変化等に伴う更なる課題を踏まえ、持続的に成長する企業となるべく「暮らしと産業の未来を支えるロジスティクス・パートナー ～Stronger Together～」を経営ビジョンに掲げた第９次中期経営計画を策定しました。この2026年4月からを初年度とする3年間の指針と共に当社グループはワンチームとなって、確実に歩んでまいります。

第９次中期経営計画

中期ビジョン

暮らしと産業の未来を支える
ロジスティクス・パートナー

～ Stronger Together ～

マインド　**「運ぶ」から「つなぐ」へ**

物流を人々の食卓や工場の稼働を守る社会の心臓部と捉え、誇りを持つ

行動　**「＋α」の価値を添える**

依頼されたことをこなすだけでなく、もう一歩踏み込んで相手の課題を解決する

成果　**「あなただから」の信頼**

安全・確実・高品質の土台にデジタル技術を組み合わせ、選ばれ続ける存在へ

基本方針 — 4つの骨子

既存の強みを起点に事業領域を広げ、変化に強く再現性のある成長モデルを確立

1 既存業務の深化・多角化

顧客価値：ワンストップで完結し、品質と確実性が上がる

【事業戦略】

当社価値：取扱範囲の拡大による単価・粗利の底上げとシェアの拡大

2 運送力の強化

顧客価値：納期・温度管理等の要件に対して安定した輸送手配

【供給力・ハード基盤】

当社価値：受注可能量の拡大、原価改善、機会損失の低減

3 オペレーティング・モデルの再設計

顧客価値：業務品質・リードタイムの向上

【仕組み・プロセス】

当社価値：標準化→デジタル実装→データ運営でミス・工数を削減

4 人材育成

顧客価値：対応が速く、提案の品質が上がる

【人・スキル基盤】

当社価値：案件設計精度向上、品質・生産性向上、新領域の実行力確保

重点戦略テーマ

4つの骨子を横断的に束ね、経営資源（人・投資・時間）を集中

① **既存強みを起点とした価値領域の拡張と収益力強化**

料金設計の適正化 ／ 国内外一体受注 ／ 提案型営業へ転換

事業戦略×人材

テーマ「価値を広げ、収益力が高まる領域を切り拓く」

② **運送供給力の強化と機会損失の最小化**

内製・外注・提携の多層化 ／ 波動対応・優先順位の仕組み化

供給力×仕組み

テーマ「止まらない・機会損失を生まない」

③ **再現性あるオペレーションと人材による競争力の確立**

業務標準化 ／ デジタル・AI活用 ／ 専門人材の育成・配置

仕組み×人材

テーマ「強さを仕組みに変える」

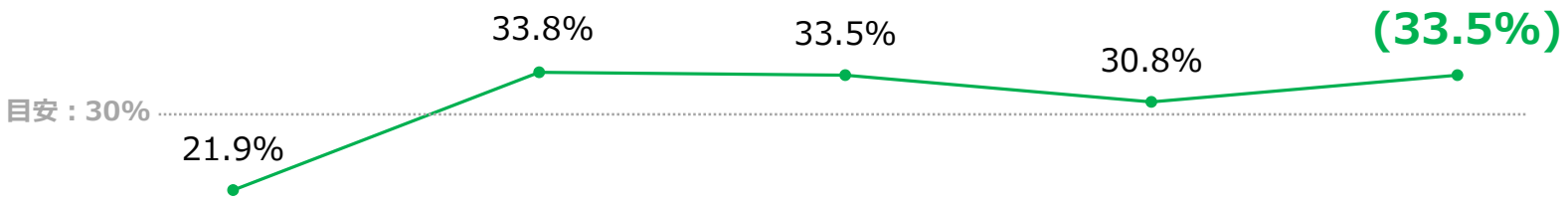
定量目標（KGI）

3年間で経常利益 1.2倍、株主資本コストを上回るROEの実現へ

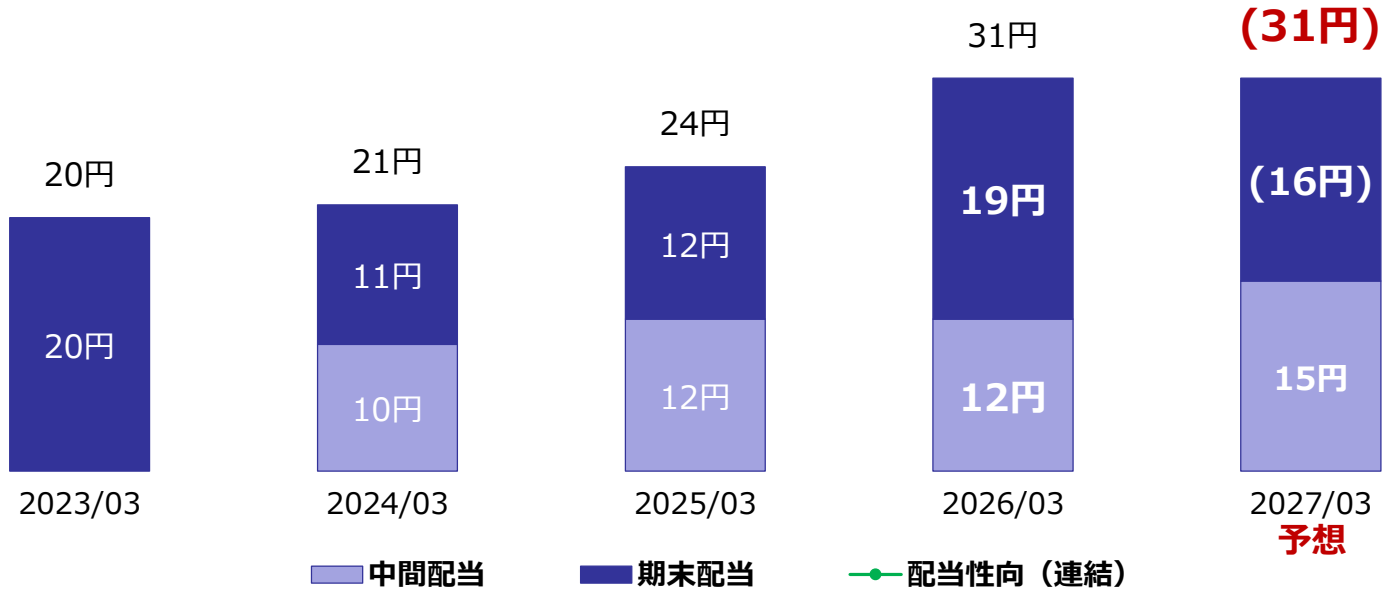
売上高	営業利益率	経常利益	ROE
2028年度目標	2028年度目標	2028年度目標	2028年度目標
200億円	7.0%	15億円	≧ 9.0%
▲	▲	▲	▲
2025年度	2025年度	2025年度	2025年度
181億円	6.0%	12.3億円	8.7%
年平均成長率 +3.38%	+1.0pt 改善	+21.95% 成長	株主資本コストを上回る水準へ

配当金

配当性向(単位：%)

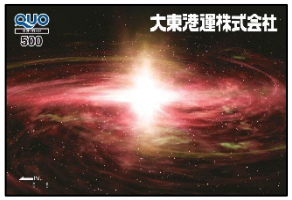
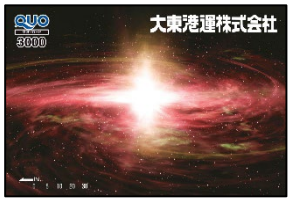


配当金の推移(単位：円)



当社は、株主の皆様の長期的な利益還元を重要な課題であると認識し、安定的な配当を行うことを基本方針としています。
配当については、中長期的視点での企業価値向上のために必要な事業投資を継続したうえで、
１株当たり年額20円を下限とし、各事業年度の収益力向上を考慮しつつ、配当性向30%程度を目安として実施します。

株主優待

保有株式数	優待内容
200株以上 500株未満	 クオカード 500円分
500株以上 1,000株未満	 クオカード 1,500円分 ＋  「メンバーシップクーポン株主様ご優待券」引換券
1,000株以上	 クオカード 3,000円分 ＋  「メンバーシップクーポン株主様ご優待券」引換券

毎年3月31日時点の株主名簿に記載された株主様に、保有株式数に応じて当社オリジナルクオカードおよびコストコホールセールジャパン「メンバーシップクーポン株主様ご優待券」引換券を贈呈いたします。

大東港運株式会社

「ありがとう」に ありがとう

わたしたちは お客様からの「ありがとう」を目指します

Corporate Philosophy

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。